

事業概要：住み続けられる中山間地域創造事業

旧制度（推進）

申請者	鳥取県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費	174,940千円 (53,770千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・移住や関係人口を増やし、少子高齢化に歯止めをかける。 ・買物環境を整備する企業、団体を支援し、中山間地域の買物環境を維持する。 ・路線バスやタクシーなどの二次交通を保持し、生活基盤を安定させる。 ・林業などの担い手不足の解消。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 人口減少が進み、中山間地域における移動手段の確保が課題となっており、公共交通のドライバー確保や、住民・地域・行政の共創によるコミュニティ・ドライブ・シェア推進に向けた事業者支援を実施する。また、地域への愛着形成や移住促進に向けた鳥取の魅力発信を実施する。		
	【主な経費】 公共交通の供給力の確保に向けたバス・タクシー事業者のドライバー確保に係る支援の拡充 ・日本版ライドシェア実施に係る支援(補助金、需用費)4,200千円 移住者増加を狙うPR動画の発信、県内の若い移住者等による若者目線の「とっとり暮らし」情報発信(委託)10,720千円 林業技能職員のチェーンソー技術訓練、労災防止研修及び伐木競技者育成研修(委託)4,000千円		住み続けられる中山間地域創造事業 安心して住み続けられる中山間地域づくりに向け、地域に必要な生活基盤・サービスを提供する仕組みを形成し、それぞれの地域に合った人口減少に負けない地域づくりを強力に進める。 地域交通の確保向上 ◎ 共助交通支援 ◎ A I オンデマンド交通の導入支援 ◎ ドライバー確保 医療体制の維持・強化 ◎ 医療人材確保支援 ◎ 訪問介護事業の安定確保 人材育成・人材確保 ◎ 林業の担い手確保推進 ◎ 特色を活かした学校の魅力向上 人口減少対策・移住定住 ◎ UIターン促進強化 ◎ 移住暮らしの情報発信 ◎ ファミリーワーケーションの支援 持続可能な 中山間地域づくり 中山間地域づくりを支援し、地域に合った「生活環境の維持」、「担い手確保」、「移住促進」等により豊かで住み続けられる中山間地へ 地域交通の確保 担い手確保 交流促進
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+938人） ②買物環境確保計画の策定件数(累計)（+11件） ③コミュニティ・ドライブ・シェアの取組エリア数(累計)（+23エリア） ④林業への年間新規就業者数（+160人）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.pref.tottori.lg.jp/243658.htm

事業概要：人口最少県が挑む！人手不足に打ち勝つ人材獲得・育成事業

旧制度（推進）

申請者	鳥取県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費	342,042千円 (109,498千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・企業DX化により、県内産業の労働生産性の向上を図る ・学生の県内定着や、県外に流出した技術人材等のUターンを促進する ・高度ものづくり関連人材の育成など、労働者の能力向上を図り、賃金アップや企業の収益向上を実現する ・女性・若者・障がい者など多様な人材にとって魅力ある職場環境づくりを進め、新たな働き手の掘り起こしを図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 企業の生産性向上や働き手の育成・向上、起業家の創出を通じた県内企業の魅力向上を図るとともに、多様な人材が活躍できる職場環境づくり等を進め、県内定着及びUIJターンの増加を目指す。		
	【主な経費】 学生や若手社会人を対象にした未来のデジタル人材育成 ・IoTスキルアップチャレンジ事業（委託料）2,220千円 県内企業の高度ものづくり人材の育成 ・基盤・先進技術技術講座（謝礼等）2,400千円 インターンシップや県内企業の魅力発信により学生人材の県内定着 ・インターンシップの実施（委託料）54,363千円 鳥取県版スタートアップエコシステムの醸成 ・地域起業家アクセラレーションプログラム実施経費（委託料）4,433千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値			
	①地域へのUIJターン数（+938人） ②大学生の県内企業インターンシップ参加者数（+160人） ③高度ものづくり関連人材の育成者数（+750人） ④地域課題解決型創業の輩出件数(累計)（+30件）		
		URL ※交付金の具体的 使途・実施体制・効 果検証の結果及び 改善方策への反映 が記載されている URL	https://www.pref.tottori.lg.jp/243658.htm

事業概要：若者・女性にも選ばれるとっとりづくり

継続

申請者	鳥取県						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	723,192千円 (242,578千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・多様な働き方を県内に広げることにより若者や女性の県内就職・定着に繋げ、地域の担い手不足の解消を図る。 ・若者目線で県の施策を再構築し、将来にわたって魅力ある鳥取県の形成を目指す。 ・子どもたちが他者と協働して自ら課題を解決する力を身に着けるため、将来地域を支える人材の育成を図る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 各商工団体と協働で新しい働き方の導入や働きやすい職場づくり等に取り組むことで、多様な働き方の実現と県内の長期的な人材確保に繋げる。 若者と県内企業や大学等の教育機関との交流を深めたり、学生の地域との関わりを増やすことで、若者の県内定着に繋げる。						若者・女性にも選ばれるとっとりづくり 若者が繋がり、活躍する環境づくり ・若者目線での情報発信 ・若者同士の交流基盤の創出 ・若者がチャレンジできる機運醸成 ・県外大学・企業との「新たな関係人口」の創出 本県の魅力・企業価値発信ツール 魅力ある働き方・職場づくり ・女性目線での職場・地域の課題整理 ・企業の課題に応じた専門家派遣 ・男性育児取得促進に向けた伴走支援 ・スポットワーク導入支援 スモールメリットを活かした人づくり ・ジュニアアスリートの育成 ・誰一人取り残されない学びの保障 ・次世代の鳥取をを創る人材の育成 ・本県への愛着形成・県内定着への機運醸成 ふるさとキャリア教育 男性育児休業取得率の向上や多様な働き方が県内企業に普及 若者やあらゆる世代の人々が、より良い地域を目指して主体的に活動 若者を中心とした幅広い層の多様な提言・提言を収集、若者目線の施策 若者や女性の県内就職・定着 地域の担い手不足の解消 魅力ある鳥取県の形成	
	【ソフト事業経費】 若者が繋がり、活躍する環境づくりに関する事業 ・県内の企業情報や魅力の発信（委託料）19,000千円 ・若者の発想による地域づくり推進（報償費、委託料等）26,960千円 魅力ある働き方・職場づくりに関する事業 ・多様な働き方導入に向けた専門家派遣（委託料）11,663千円 ・リモートワーカーの育成や就労支援（委託料）18,615千円 スモールメリットを活かした人づくりに関する事業 ・ふるさとキャリア教育の推進（委託料等）4,600千円 ・高校魅力化の推進（負担金）11,165千円							
主なKPI	①年間移住者数（+669人） ②イクボス・ファミボス宣言企業数（+213社） ③「将来は今住んでいる地域や鳥取県で働きたい」高校生の割合（+3.54%）						URL	https://www.pref.tottori.lg.jp/243658.htm
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値								
※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL								

申請者	鳥取県						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,137,336千円 (377,427千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・鳥取県出身の漫画家、水木しげる氏（「ゲゲゲの鬼太郎」の作者）と青山剛昌氏（「名探偵コナン」の作者）の世界観を推す県内の観光地の取組に加え、そのほかのまんが・アニメのコンテンツを活かした取組を加速させる。 ・県民が本県に愛着と誇りをもち、地域の魅力向上に向けた主体的な観光振興策の創出を図る。 ・地域一体となった観光地づくりを実現し、「持続可能」で「高付加価値」な地域社会・経済の好循環を目指す。 ・観光ブランドイメージの形成・定着や、魅力ある観光素材の磨き上げ等により交流・観光人口の拡大を図る。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「まんが王国とっとり」の取組を地域全体に広げるため、アニメツーリズムに注力するほか、県内への誘客を促す取組を支援。また、知名度の向上にむけて、国際定期便が就航する韓国や台湾でのイベント出展や誘客プロモーションなどの情報発信に力を入れる。アドベンチャーツーリズムやサイクリングツーリズムなどの新たな観光コンテンツを充実させ、「稼げる観光産業」を実現する。						Welcome ようこそ Manga Kingdom まんが王国とっとり再建物語 まんが・アニメを活かした観光誘客 県内出身の漫画家の作品や県内を舞台にしたアニメなどをテーマにしたイベントなどを開催を支援  効果的なPRによる知名度向上 本県から直行便がある、香港や台湾等の東アジアをターゲットとした観光情報の発信  観光素材を活かした稼げる観光産業 本県の雄大な自然や食、温泉など豊富な観光資源、自然環境を活かしたアウトドアなどのアドベンチャーツーリズム  ・日帰り観光から宿泊観光への転換 ・宿泊費や飲食費など消費額の拡大 観光産業の高付加価値化による地域社会・経済の好循環	
	まんがを活かした魅力の向上・誘客事業 ・アニメツーリズムの促進（補助金）10,000千円 ・観光誘客に取り組むための補助金の充実（補助金）18,000千円 ターゲットを定めた効果的なPRによる知名度向上 ・まんが人気が高い台湾や香港でのまんが・アニメイベントへの出展（委託料）7,422千円 ・県西部の空港から国際定期便が就航する東アジアでの誘客プロモーションの強化（委託料）219,500千円 鳥取県ならではの観光素材を活かした「稼げる観光産業」の実現 ・鳥取県内の自然や文化を活かしたアドベンチャーツーリズムの推進（委託料）15,000千円 ・サイクリングツーリズムの定着に向けたシェアサイクル・レンタサイクルの拠点整備（補助金）3,000千円 ・誘客促進イベント支援（補助金）15,000千円							
主なKPI	①観光入込客数(実人数)（+1,415千人） ②宿泊者数(実人数)（+967千人） ③県外客の来訪回数(3回以上の割合)（+4.4%） ④外国人延べ宿泊者数（+234千人泊）						URL	https://www.pref.tottori.lg.jp/243658.htm
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		

申請者	鳥取県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	652,570千円 (222,868千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・県立美術館を核として鑑賞や創作活動、発表などの場を提供する。 ・子どもたちの豊かな感性や創造性を育むとともに、将来性のある若い活動者等の活躍を支援する。 ・新たに開館する県立美術館を中心としたアートや地域の文化資源を積極的に活用し、人や地域をつなげ、活力ある豊かな地域づくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県立美術館開館を契機とした各種事業を展開し、アート振興と誘客を促進し、地域の賑わい創出を図っていく。					県立美術館を拠点としたアート・文化振興 ・県立美術館を核として、活気ある地域づくりを推進 ・心豊かで潤いのある県民生活の実現を目指す  令和7年3月30日開館した県立美術館  館内のカフェスペース  作品やアーティストと出会う アート・ラーニング・ラボ(イメージ)	
	【ソフト事業】 文化芸術に親しむ環境づくり ・県立美術館での大規模企画展開催、リピート来場者定着（報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料等）107,056千円 ・多様な発表や鑑賞の機会の提供（委託料）16,691千円 次世代の文化芸術を担う人材育成 ・作品展示・舞台公演の補助（会場費、印刷費等）1,900千円 ・文化芸術活動推進に向けた外部講師の招へい（講師謝金、旅費、会場費等）1,300千円 文化・芸術資源を活用した賑わい創出 ・「とっとり弥生の王国」の中核となる史跡公園のPRと地元の賑わい創出を目的としたイベントの開催（報酬、報償費、旅費、委託料）9,337千円						
主なKPI	①当該事業に係る関係人口数（「ふるさと来 LOVEとっとり」メンバー数）（+300人） ②鳥取県の文化的な環境に満足している者の割合（+4.85%） ③児童・生徒を対象とした文化芸術鑑賞等への参加学校の割合（+4.7%）					URL	https://www.pref.tottori.lg.jp/243658.htm
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値							

事業概要：地域産業の成長力強化・雇用の創出

継続

申請者	鳥取県						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	753,314千円 (181,550千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	・ものづくり・食品加工産業などの基盤的産業の成長、新産業の創出、地場産業を担う小規模事業者の経営力強化等の多面的な取組を展開することで、県内産業の持続的な発展を加速させる。 ・深刻化する人材不足を解消するため、職場環境の整備など多様な人材活用、成長分野の人材育成等に取り組み、県内産業を支える人づくりを推進する。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 企業の生産性向上や高付加価値化、販路開拓に向けた後押しを求める意見があったことから、県内ものづくりネットワークの形成や品質レベルの底上げに対する支援を行うほか、不安定な国際経済情勢下での安定した需要獲得やサプライチェーン確保に向けて、現地地方政府や経済団体等とのネットワーク形成やそれら下でのビジネスマッチングに取り組む。また県内の新産業創出に向けた取組も引き続き実施する。						鳥取砂丘月面実証フィールド「ルナテラス」を活用して 宇宙ビジネスを推進し、地域産業の成長・創出を目指す  鳥取大学と鳥取県の連携協定締結によりフィールドを運営	
	【ソフト事業】 ＜県内企業の競争力強化事業経費＞ 県内ものづくりネットワークの強化（委託料）18,000千円 ＜県内企業の競争力強化に向けた需要獲得支援経費＞ 安定した需要獲得に向けたネットワーク形成やビジネスマッチング（委託料）29,000千円 ＜新たな成長産業創出事業経費＞ 鳥取砂丘月面実証フィールドを活用した宇宙ビジネスの創出 ・発信・利用促進（委託料）9,000千円 ・宇宙関連企業とのマッチング機会の創出（委託料）5,000千円							
主なKPI	①地域へのUIターン数（+990人） ②新たな産業分野における事業化件数（+45件） ③経営改善計画の策定件数（+75件） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						URL ※交付金の具体的用途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.tottori.lg.jp/243658.htm

事業概要：付加価値創出に向けた農林水産業振興事業

継続

申請者	鳥取県						初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,094,124千円 (361,257千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業				
目的・効果	・産地主体の後継者育成・確保体制を整備し、新規就農者の大幅増加を目指す。 ・省力化技術の普及や農地集積、品種転換を進め、収益性向上を図る。 ・県産品の認知度を向上させ、付加価値の創出を図る。 ・農業の収益力を強化し、雇用創出に伴う税収の増加に繋がる好循環を生み出す。								
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 自然災害の増加や高齢化による担い手不足の中でも、県内農業の振興を図っていくため、農業生産体制強化に向けた設備導入や施設整備に対する支援のほか、地域外からの参入等による担い手確保対策を進める。また、県産食材の魅力発信も強化し輸出拡大や消費拡大を図る。						 柿(輝太郎)  梨(新甘泉)		
	【ソフト事業】 収益力向上事業 ・集落農業組織による地域計画実現に向けた支援（補助金）1,000千円 農産物の販路拡大・輸出促進事業 ・県産食品の輸出強化プロモーション（委託料） 19,446千円 担い手確保・育成推進事業 ・コーディネータ配置及び外国人材の管理費等支援（委託料）15,712千円 ・継承者確保モデルの形成 22,195千円 【施設整備・事業設備・備品経費】 主要園芸品目の生産性向上や産地規模拡大 53,130千円 園芸品目及び酪農・養豚・鶏の暑熱対策への支援 19,889千円 等						 (鳥取和牛オレイン55)  いちご(とっておき)		
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農業生産額（+84.8億円） ②認定農業者等数（+15人） ③農林水産物等の輸出額（+4.5億円） ④鳥取型低コストハウス導入面積（+3.6ha）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.tottori.lg.jp/243658.htm	

事業概要：鳥取式・買物環境支援（安心して住み続けられるふるさとづくり）

継続

申請者	鳥取県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	552,000千円 (146,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・市町村が主体となつて行う買物環境確保施策を支援し、持続的な買物環境確保に努める。 ・生活機能の維持・確保や地域・集落基盤の創設・強化等、地域の実情に応じた安心して住み続けられるふるさとづくりを推進する。 ・人口減少や少子高齢化を背景に、県内全域で中山間地における安定した雇用環境の創出と担い手の確保、地域活力の低下が課題となっているため、それらを解消し、地域活力の向上を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域や民間事業者と連携した先導的な取組や、地域が行う新たなふるさとづくりに対して市町村と連携して包括的に支援を行う。					 閉店した店舗の承継  共助交通  過疎地域での移動販売 安心して住み続けられる持続可能な地域へ！  多世代交流拠点  集落・地域の集い  助け合いによる除雪作業	
	【ソフト事業】 買物環境確保に向けた事業への支援 ・市町村への補助金 70,000千円 安心して住み続けられるふるさとづくり事業への支援 ・市町村への補助金 70,000千円 特定地域づくり事業協同組合制度の利用促進 ・アドバイザー業務の委託料 1,000千円 高校生が地域と連携して行う魅力発信 ・実行委員会への補助金 2,000千円 地域団体の活性化に寄与するイベントの開催 ・地域づくりについて学ぶイベント開催業務委託料 3,000千円						
主なKPI	①転出超過数（▲1,098人） ②新たな買物環境確保に関する取組件数（+10件） ③安心して住み続けられるための拠点づくりに取り組む地区数（+6地区） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL	https://www.pref.tottori.lg.jp/243658.htm
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

申請者	鳥取県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	673,422千円 (329,773千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・「和牛といえば鳥取」と呼ばれる産地への更なる飛躍を目指し、優秀な種雄牛の造成及び活用によって和牛の改良と振興を図ることで、収益性の高い畜産経営を実現し、農林水産業の更なる活性化を図る。 ・肉質日本一となった「白鵬85の3」につづく、次世代のスーパー種雄牛を効率的に造成するため、研究体制や種雄牛・改良の基幹となる優良種雄牛の生産・管理体制等を構築する。						
事業概要・ 主な経費	「和牛王国とっとり」を再度復活し、鳥取県の畜産を元気にして全国に発信するため、 ✓「白鵬85の3」のような全国に誇る種雄牛を作るための研究能力を高める。 ✓猛暑や寒冷による種雄牛の体調変動を最小限にし病気にかかりにくい牛舎を新設し、未使用となっている旧乳牛舎を改修する。					次世代を担うスーパー種雄牛 次世代のスーパー種雄牛造成事業 ・県内雌牛全頭ゲノム検査費用（需用費）500千円 ・受精卵ゲノム分析費用（需用費）3,600千円 現牛舎の解体設計、基本設計 ・現牛舎解体撤去、旧乳牛舎改修、種雄牛舎棟の工事設計 313,361千円	
	主なKPI	①農業産出額（+207億円） ②鳥取県畜産試験場の精液販売収入（+118,050千円） ③鳥取県の和子牛生産頭数（+1,150頭） ④鳥取県の和子牛せり市場の年間総販売額（+1,312百万円）					

申請者	鳥取県						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	225,337千円 (9,506千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	・県内で生産された生乳を原料とした高次加工品を増産することにより、酪農家の経営安定及び安定生産を図り、併せて県産牛乳の使用に特化した食事やソフトクリームを楽しむことのできるカフェや牛乳・乳製品の加工品等を購入できる畜産物加工展示施設を、大山地区のランドマークとして魅力のあるコンテンツを有した施設とし、インバウンド等により更なる観光客数の増加を図る。 ・発酵乳等仕向けの生乳を用いた乳製品製造量を増加させるため、製造工場において試作機械を導入し、新商品開発や技術の獲得・開発スピードの向上への支援を行い、県内酪農家の安定的な経営に向けたみるくサプライチェーン強化に寄与する。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 開設から25年以上が経過した「大山まきばみるくの里」は、施設のデザイン等が現在の観光客のニーズに合わないものとなっているため、施設のリニューアル改修を行い、快適な空間や誘客につながるコンテンツを整備する。 「大山まきばみるくの里」の観光施設としての魅力を向上させ、施設の来場者数の増加、乳製品の販売増加を図り、それに伴う県産乳製品のブランドイメージを向上させ、国内外での県産乳製品の販路拡大を実現する。						みるくの里リニューアルイメージ 	
	【拠点整備事業】 新商品開発支援に向けた備品整備 ・試作機械導入費（超低温フリーザー、アイスフリーザー、攪拌機、ユニットクーラー） 9,506千円							
主なKPI	①県内の農業産出額（+161億円） ②大山乳業農業協同組合のアイスクリーム売上高（+14億円） ③みるくの里来場者数（+40万人）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.tottori.lg.jp/243658.htm

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

申請者	鳥取県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,110,888千円 (352,690千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域産業クラスターの形成に向け、GXやコンテンツなどの新分野の創出に寄与する産官学を挙げた取り組みを推進する。 ・農林水産業や観光業、食品加工業などこれまで県産業を支えてきた地場産業の新事業の展開や生産性向上、高付加価値化を目指す。 ・酷暑に対応した農産物の改良や栽培方法の確立、観光施策の見直しにより、地場産業の底上げを図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本県が目指す「とっとり産業クラスター」の実現に向け、現状の産業構造の改革を図る。産業クラスターの形成に向け、電気自動車（EV）への転換などによる成長分野への参入を目指し、自動車関連製造業など県内企業の成長を後押しする。また、コンテンツ分野やヘルスケア分野など本県の特性を活かした分野を重点的に支援し、クラスター形成につなげていく。さらに、農業や観光など地域産業の成長を阻む要因となっている酷暑を乗り越えるための事業を推進することで、地場産業の高付加価値化に結び付ける。					とっとり産業クラスターの形成に向けて～酷暑に負けない地方経済の実現～ 新たな産業構造の創出 産業クラスターの形成に向け、選定した事業分野の成長を後押しするとともに、大学などの高等学術機関と連携した技術力を向上 EVなどGXの推進 クリエイターと企業のマッチング 酷暑を乗り越える経済活動への転換 農林水産業や観光など地域産業の成長に向け、障壁となっている異常な暑さを乗り越えるための事業を推進 暑さに強い農作物の開発 水産資源の定比による食品産業の強化 新たな成長軸の創出と産業集積を活かした産業クラスターの形成による地域経済の成長・発展	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・EVのワイヤレス給電技術の研究調査（委託料、報償費、旅費）12,624千円 ・クリエイターのマッチング支援（委託料）21,800千円 ・酷暑に耐える農作物の優良な種子の導入促進（補助金）10,441千円 ・観光客の利便性向上に向けた公共交通の整備（補助金、報償費、旅費）12,738千円						
主なKPI	①設備投資計画の認定（＋75件） ②新たな価値創造・生産性向上取組企業（＋210件） ③経営改善計画の策定件数（＋75件） ④農業生産額（＋84億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.tottori.lg.jp/243658.htm

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：インバウンド誘致で切り拓く麒麟のまち圏域の未来創造事業

継続

申請者	鳥取県鳥取市ほか6自治体					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	568,610千円 (183,069千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	日本遺産「麒麟のまち」にかかる文化財を活用した“歴史文化”と“自然”の融合による新たな魅力の創出を図り、圏域への観光客の誘客を目指す。インバウンド等受入体制整備と魅力発信により、観光消費の拡大等による持続可能な圏域の活性化を目指す。構成文化財の保存、活用に関わる圏域住民の地域に対する愛着や郷土愛を育み、人口減少や歴史・文化・伝統芸能等の衰退に歯止めをかけ、圏域の発展、経済の好循環につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 日本遺産「麒麟のまち」の認知向上と地域活性化を目的に、推進体制を強化し、31の文化財の磨き上げや商品化・ブランド化を進めるとともに、多言語対応やガイドマップ整備、二次交通の充実などインバウンド受入環境を整備する。さらに、イベント開催や情報発信、食や体験コンテンツの創出により交流・関係人口を拡大し、ワークショップや出前講座を通じて伝統芸能の担い手育成と郷土愛の醸成を図ることで、持続的な地域活性化と文化継承につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 〇ソフト事業 日本遺産「麒麟のまち」推進協議会の体制強化による地域活性化事業 ・日本遺産を活用した稼ぐ地域づくりを構築するための経費（負担金）：14,100千円 インバウンド等受入体制整備事業 ・インバウンド需要拡大事業（委託料）：44,336千円 ・その他14事業（委託料、需用費、使用料、補助金、負担金、光熱水費、手数料、備品費、工事請負費）：67,578円 歴史・文化・郷土芸能等を活用した圏域の魅力発信・普及啓発事業 ・多言語ガイドマップや映像により、圏域の魅力発信拠点を整備・運営するもの。 （委託料）：21,185千円 ・その他13事業（委託料、補助金、需用費、負担金、報償費）：34,441千円 人材育成事業 ・体験や交流などをとおして人材育成や人材発掘を進めるための経費 （委託料、補助金、需用費）：1,429千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①圏域を訪れる旅行者の観光消費額（+3,044円） ②鳥取県東部の外国人観光入込客数（+14,368人） ③「このへん共和国」会員登録数（+1,456人） ④日本遺産・麒麟獅子舞の保存継承プログラム参加者数（+25人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.tottori.lg.jp/page/29356.html

※鳥取県鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、兵庫県香美町、新温泉町の広域連携事業

事業概要：鳥取型デジタル人材育成・活用プログラム実践事業

継続

申請者	鳥取県鳥取市					初回採択回	令和7年度第1回募集													
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	69,864千円 (23,500千円)													
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業															
目的・効果	デジタル人材の育成や多様な働き方の実現、県外人材の確保、企業誘致や地元企業支援を進めることで、人口減少の抑制と魅力ある雇用環境の構築を図り、人材の定着・流入と生産性向上を通じて持続的な地域経済の発展につなげる。																			
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市民向けデジタル人材育成と就職支援を一体的に実施し、習得スキルを活かした高付加価値な働き方を促進するとともに、県外リモート人材の関係人口化・移住促進を図る。あわせて、都市部企業とのマッチングによる雇用創出や企業誘致につなげ、地元企業にはリモート人材活用や業務切り出し支援を行うことで、生産性向上やDX、働き方改革を推進し、地域の雇用拡大と人口減少抑制に寄与する事業である。					<table><tr><td></td><td>地元側</td><td>都市圏側</td></tr><tr><td>人材育成・活用</td><td>・デジタル人材育成プログラム</td><td>・県外リモート人材の転職なき移住 ・地域課題解決に繋がる事業支援</td></tr><tr><td>企業・団体</td><td>・リモート人材の活用を啓発 ・既存業務の切り出し支援</td><td>・フルリモート採用企業の開拓 ・都市圏企業とのマッチングイベント</td></tr><tr><td>統合的な取り組み</td><td colspan="2">・各種広報活動（ホームページ・パンフレット・動画制作等）</td></tr></table>				地元側	都市圏側	人材育成・活用	・デジタル人材育成プログラム	・県外リモート人材の転職なき移住 ・地域課題解決に繋がる事業支援	企業・団体	・リモート人材の活用を啓発 ・既存業務の切り出し支援	・フルリモート採用企業の開拓 ・都市圏企業とのマッチングイベント	統合的な取り組み	・各種広報活動（ホームページ・パンフレット・動画制作等）	
		地元側	都市圏側																	
人材育成・活用	・デジタル人材育成プログラム	・県外リモート人材の転職なき移住 ・地域課題解決に繋がる事業支援																		
企業・団体	・リモート人材の活用を啓発 ・既存業務の切り出し支援	・フルリモート採用企業の開拓 ・都市圏企業とのマッチングイベント																		
統合的な取り組み	・各種広報活動（ホームページ・パンフレット・動画制作等）																			
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 [地元人材育成] 地元側デジタル人材育成に向けた取組 ・デジタル人材育成プログラム構築業務（委託料）5,000千円 [県外人材確保] 県外リモート人材確保（転職なき移住）にむけた取組 ・県外リモート人材を対象とした地域課題解決プログラムの実施（委託料）5,000千円 [県外企業誘致] 県外企業のリモート人材開拓に向けた取組 ・拠点誘致支援業務（委託料）4,000千円 [地元企業支援] 地元企業への人材確保に向けた取組 ・地元企業向けリモート人材活用セミナーの実施（委託料）2,000千円 ・ハンズオン範囲の切り出し業務支援（補助金）1,900千円 上記の取組効果を高める統合的な取組 デジタル人材育成プログラム用備品 ①各種広報活動 4,600千円 ②備品購入 1,000千円																			
主なKPI	①地元デジタル人材の新規採用者数（+10人） ②県外からの転職なき移住者数（+12人） ③サテライトオフィス設置社数（+4社） ④リモート人材を活用する地元企業数（+6社） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL	https://www.city.tottori.lg.jp/page/29356.html													
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL														

事業概要：地域資源で未来につなげる！「とっとり」農林水産業魅力創出事業

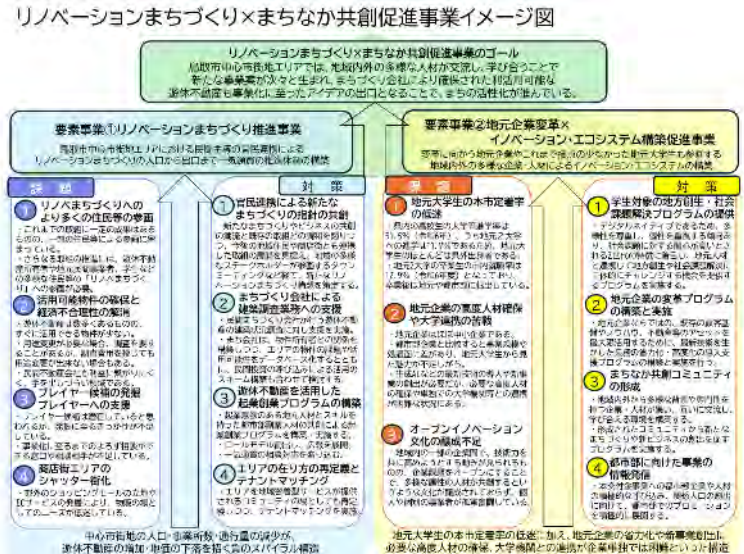
継続

申請者	鳥取県鳥取市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	257,877千円 (118,192千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・「農林水産業振興プラン」を策定し、課題である農林水産物のブランド化と販路の開拓、地域資源を活用した新たな特産品の創出、中山間地域の活性化に資する施策を産学官連携のもと実践することで、持続可能な農林水産業の実現と地域の活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 農林水産物のブランド化や販路拡大に向けたマルシェ出展・EC活用、大学連携による商品開発支援を進めるとともに、経営支援システム導入により適正な価格形成と所得向上を図る。また、温泉熱等を活用した新特産品の創出や資源循環の実証、観光農園や農泊の推進により観光需要を取り込み、中山間地域では耕作放棄地の活用や加工施設整備、作業効率化を進めることで農業の維持・活性化と交流人口・関係人口の拡大につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・農林水産物販路拡大のための事業 39,303千円 ・中山間地域農地の維持活性化事業 22,315千円 ・地域資源を活用した新たな特産品の創出 5,000千円 ・農林水産業間の連携による資源の有効活用に関する実証 2,000千円 ・上記の取組効果を高める統合的な取組 200千円 ・温泉熱を活用した新たな特産品産地づくり 46,354千円 ・中山間地域における新たな産業創出のための加工施設機能向上 3,020千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農業総産出額（+9億円） ②インターネットモールの参加店舗の売上総計（+2,515.60万円） ③連携中枢都市圏の特産品を販売するリアル店舗の売上（+1,126.96万円） ④農林水産物の商談成立件数（+30件） ⑤中山間地域農地（遊休農地含む）の畑地及び果樹園、自己保全農地としての利用面積（+4ha）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.tottori.lg.jp/page/29356.html

申請者	鳥取県鳥取市					初回採択回	令和7年度第2回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	167,566千円 (67,866千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	日本のみならず、国際的に「ネイチャーポジティブ経済」への移行が重要視される中で、生物多様性を豊かにしながら、経済合理性を成立させる『自然資本産業の推進』をテーマとした事業を展開する。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域の自然を活かしながら経済的に持続可能な産業（“自然資本産業”）の起業支援を通じ、鳥取市（特に過疎地域等）での地域活性化を目指す。自然資本産業推進協議会(仮称)を設立し、ローカルベンチャースクール（地域おこし協力隊等を活用した起業支援プログラム）を運営し、地域で連鎖的に起業が生まれる土壌を作り、4年目以降、自走化する。 気高町日光をモデル地区とし、自然資本産業の可能性を調査するため、モニターイベントを実施する（エコツーリズム事業、企業研修事業等を想定）					①「自然資本産業」をベースにした ビジネスの創出と育成  ②気高町日光地区周辺を舞台にした 「自然資本産業モデル事業」の造成  新しいことに 本気でチャ レンジする人が 出る その背中は チャレンジす る人を呼ぶ チャレンジは 連鎖し 生態系になる 多様な生態系 が生まれれば 地域は元気な なる まちの未来が つくられてい く		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 自然資本産業に関わる起業支援事業 ・事業主体の形成（委託料）37,418千円 モデル地区での調査事業 ・気高町日光での環境調査（委託料）22,540千円 上記の取組効果を高める統合的な取組 ・プロジェクト推進協議会運営経費 ほか 7,908千円							
主なKPI	①LVSからの起業者及び新規事業創出者数（+9者） ②起業支援プログラムへの参加者数（+18者） ③宿泊を伴うイベントの実施回数(+120泊） ④イベント参加者の金銭的評価額（支払意思額）（+14,000千円）					URL	https://www.city.tottori.lg.jp/page/29356.html	
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値								

事業概要：リノベーションまちづくり×まちなか共創促進事業

新規

申請者	鳥取県鳥取市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	124,815千円 (38,431千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	中心市街地の人口・事業所数・通行量の減少が遊休不動産の増加・地価の下落を招く負のスパイラル構造、地元大学生の本市定着率の低迷に加え、地元企業の省力化や新規事業創出に必要な高度人材の確保および大学機関との連携が企業単独では困難といった構造を打破することを目的とする。本事業の実施により、地域内外の多様な人材が交流し学び合うことで、新たな事業案が次々と生まれ、遊休不動産も出口として活用される状態を構築し、まちの活性化を図っていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市中心市街地を舞台に、リノベーションまちづくりと地元企業変革を両輪で推進するものである。官民連携により遊休不動産の調査・確保から利活用までを一体的に進め、共創型起業創業プログラムを通じて新事業の創出を支援する。また、生成AI等を活用した企業変革や大学生・地域人材・都市部人材が交流するコミュニティ形成により、継続的に事業アイデアが生まれる環境を構築する。これらにより空き店舗の事業化と人の流れを創出し、中心市街地の持続的な活性化を図る。					リノベーションまちづくり×まちなか共創促進事業イメージ図 	
	【R8年度事業 経費内訳】 リノベーションまちづくり推進事業 ・リノベーションまちづくり構想策定支援事業（委託料）：990千円 ・まちなか遊休不動産建築状況調査事業（補助金）：2,749千円 ・共創型起業創業プログラム実践事業（委託料）：3,000千円 ・商店街エリア空き店舗解消促進事業（委託料）：1,500千円 地元企業変革×イノベーションエコシステム構築促進事業 ・企業変革プログラム実施事業（委託料）：2,970千円 ・まちなか共創コミュニティ形成事業（委託料）：22,140千円 ・都市部でのプロモーション事業（委託料）：5,082千円					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.city.tottori.lg.jp/page/29356.html	
主なKPI	★①本事業に民間事業者が参画することで増加した付加価値額の累計（+12,360.0万円） ②地元大学生の県内就職率（+3.4%） ③本事業による新規事業・起業・創業件数（+10件） ④本事業により活用に至った中心市街地の遊休不動産の件数（+5件）						

申請者	鳥取県鳥取市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	749,515千円 (65,052千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	鳥取城跡を含む久松公園に、観光・交流・学習・休憩機能を兼ね備えた複合型ビジターセンターを整備するとともに、公園全体のバリアフリー化を含めた整備を行う。 周辺の自然・歴史・文化等の地域資源の高付加価値化を図るとともに、魅力を発信することで多くの方に興味を持っていただき、鳥取砂丘に次ぐ観光地として鳥取城跡周辺への来訪に繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 鳥取城跡を含む久松公園内に観光・交流・学習・休憩機能を備えた鳥取城跡ビジターセンター（仮称）を整備し、鳥取城跡・仁風閣・県立博物館等を結ぶ回遊の起点として案内・情報発信を行うことで滞在時間の増加と観光消費額の向上を図る。あわせて、ボランティアガイドの常駐や官民連携によるイベント開催、ユニバーサルデザイン整備のほか、仁風閣のリノベーション・ライトアップ、文化財のデジタルアーカイブ化、「麒麟獅子舞」の定期上演等により地域資源の高付加価値化と魅力発信を行い、誘客促進・宿泊転換・周辺エリアとの回遊促進による経済波及効果の実現を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・麒麟獅子頭の3Dデータ取得 3,960千円 ・鳥取城跡に関する資料のデジタルアーカイブ化 4,695千円 ○拠点整備事業 ビジターセンター新築事業 ・基本設計、実施設計 35,635千円（うち対象経費24,937千円） ・公園測量設計 24,200千円 重要文化財仁風閣 ・設備整備 7,260千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+2,726円） ②鳥取城跡の入込客延べ人数（+18,725人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.tottori.lg.jp/page/29356.html

事業概要：歩いて楽しいまち「米子」推進プロジェクト

継続

申請者	鳥取県米子市					初回採択回	令和7年度第1回募集		
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	683,880千円 (250,910千円)		
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業				✓
目的・効果	・米子市エリア全体の魅力を十分に引き出し周遊性を高めていくために、新しい事業にチャレンジしやすい環境を整え新規創業を促し、市民生活を豊かにする新しい価値、サービスや雇用をうみだすことで、地域の魅力向上をめざす。 ・人口減少時代に対応したまちなかのあり方の検討、公園や活用可能な空間の整備及び利活用の提案を行い、次代を担う人材の育成、新たな素材の掘り起こしなどをめざす。								
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 中心市街地や皆生温泉エリアの公園等の整備により、歩行者中心で滞在しやすいまちづくりを進めるとともに、駅前通りの実証実験や計画策定、イベント支援、空き店舗活用などのソフト施策を一体的に実施することで回遊性とにぎわいを創出する。これにより滞在時間の延長や来訪者増加、地域商業の活性化、交流人口の拡大を図り、持続可能で魅力ある都市空間と地域経済の向上につなげる。								
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・駅前通りのめざす姿の検討に関する事業 既存の歩行空間を活用した回遊性創出の検証（委託費、印刷製本費）21,000千円 市民と駅周辺まちづくりの将来イメージを共有するためのフォーラム開催（謝金、会場借料、印刷製本費、広告料、手数料）787千円 ・YONAGOまちなかハイスchool事業 フィールドワーク、プレゼンテーション等実施に伴う（委託費、会場借料）192千円 ・イベント開催応援事業（補助金）1,700千円 ・空き店舗活用支援事業（補助金）2,500千円 ○インフラ整備事業 まちなかでの滞在時間の延伸に係る公園等の整備 ・住宅対策事業 43,731千円 ・都市環境整備事業 181,000千円					 駅前通り  皆生温泉  JR米子駅前のイベント			
主なKPI	①新規創業件数（累計）（+180件） ②駅前通り周辺の歩行者交通量（+51人） ③米子駅北側の屋外イベント数（+6件） ④米子市公会堂周辺エリアの1日あたりの滞在人数（+150人）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL			https://www.city.yonago.lg.jp/21212.htm

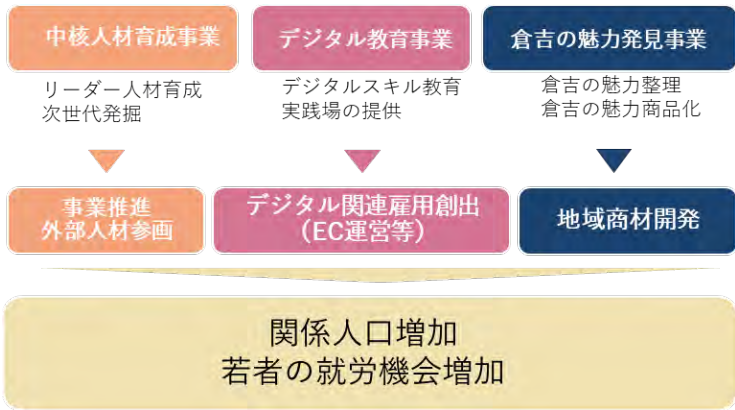
事業概要：公共交通を核とした地域活性化プロジェクト

継続

申請者	鳥取県米子市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	316,072千円 (112,152千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	地域の交通の結節点である淀江駅と周辺の集客施設である伯耆古代の丘公園等の利用促進につながる整備を行うほか、国内外に向けたエリアプロモーションを実施し、地域全体での集客能力の向上を図る。 コミュニティバス導入に向けた実証実験を行い、公共交通の基盤性を進め、地域住民の自家用車以外の移動手段を確保するとともに、新たな来訪者の創出により持続可能な公共交通体系の構築を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 淀江駅のバリアフリー化や観光案内整備、伯耆古代の丘公園の改修により利便性と目的地の魅力を向上させるとともに、プロモーションや二次交通の情報発信、コミュニティバスの実証運行を一体的に実施することで、公共交通の利用促進と生活交通の維持を図る。これにより観光誘客や地域内外の移動環境が向上し、交流人口の増加、地域のにぎわい創出、住民の利便性向上を通じた持続可能な交通体系の構築につなげる。					 JR淀江駅  コミュニティバス  伯耆古代の丘公園	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・コミュニティバス実証実験に関する事業（委託費） 24,133千円 ・淀江エリアプロモーションに関する事業（委託費） 8,584千円 ○拠点整備事業 ・淀江駅 改修工事費 65,000千円 仮設トイレ器具借料 3,500千円 ・観光案内看板及びイラストマップ整備 635千円 ・伯耆古代の丘 改修工事費 8,100千円 高木伐採 2,200千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①路線バスの収支率（+9.6%） ②伯耆古代の丘エリアの観光施設・歴史文化施設の年間入込客数（+40,800人） ③1日あたりの伯耆古代の丘エリアの滞在人数(来訪者）（+52人） ④市の運営するコミュニティバスの年間利用人数（+29,030人） ⑤皆生温泉年間宿泊客数（+13,926人） ⑥市内の年間外国人宿泊客数（+112,490人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.yonago.lg.jp/21212.htm

事業概要：人を育て、まちを育てる、くらしよし倉吉プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	鳥取県倉吉市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	542,267千円 (105,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	若年層の社会減に歯止めをかけるため、報通信産業（IT/DX関連）や、観光産業の振興を図る。産業振興で得た交流人口をコンテンツやSNSを通じたコミュニケーションから関係人口の増加を図る。事業を担う人材を市内で育成し、経済発展を基礎とした「活気あふれる元気なまち倉吉」を実現する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「くらしよし」の実現に向け、地域のリーダー層に加え次世代・女性の中核人材まで育成プログラムを拡大し、都市部参加者の伴走を通じて市内コミュニティを強化。デジタルマーケ・データ分析等を教育し、オンライン施策や先端技術を活用した事業創出で雇用を拡大。歴史文化を基に魅力情報を再編集し、発信の統一で関係人口増を図る。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・価値創造型人材育成プログラム(委託料) 43,000千円 市内企業リーダーおよび次世代の中核人材の発掘・育成を推進する、人材育成プログラムの実施と事業創出支援。 ・専門ノウハウ取得と実践の場提供（委託料）9,000千円 中核人材へのデジタルマーケティング教育や専門的なデジタルスキル教育から雇用創出を行うための実践教育と場の提供。		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①若年層の人口増減率（+1.0%） ②育成した中核人材の数（+300人） ③デジタル教育を受講した人の内デジタル関連の仕事を受けた人数（+25人）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.city.kurayoshi.lg.jp/8424.htm

事業概要：若者と地域がともに育つ、雇用対策・雇用創出プロジェクト

継続

申請者	鳥取県倉吉市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	86,900千円 (43,800千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	若者と地域企業のつながりを充実させることで、若者が起業しチャレンジしやすい環境をつくる。 若者が地域企業への理解を深め、自ら求める働き方とのマッチングを実現する。 地域企業が若者の求める働き方を理解し、新規雇用を促進する。 上記によって本市で働き生活する若者の将来の不安や満足度の低さを解消し、若年層の社会減抑制を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域木材産業を題材にデジタルファブリケーションで商品開発～販売までを体験する起業人材育成を実施、地域経営者によるアントレ教育やスポーツを通じたリーダー育成、将来的なメンタリングで起業輩出と事業者の経営力向上を図る。若者向けに多様な仕事・職種理解を深め、ミスマッチ減と地元就職増を狙う。企業×高校・大学イベントと採用人事教育で相互理解と定着を高め、成果発信で若者流入を促進する。					若者 ← マッチング → 地域企業 若者と地域企業が互いにマッチングすることで雇用を創り、人材不足を解消する 1. 地域起業人材育成事業 若者が地域の企業とつながり起業 2. 地域キャリア理解度向上事業 若者が地域の企業、仕事を理解 3. 地域と若者の相互理解促進事業 地域企業が若者の働き方ニーズを知る	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地域木材活用デジファブ教育（委託料）14,000千円 ・アントレプレナー教育（倉吉アンバサダーによる実践講座）（委託料）1,000千円 ・リーダーシップ育成プログラム（委託料）5,000千円 ・起業人材サポートのためのメンタープログラム（委託料）6,800千円 ・多様な職種を知るための教育プログラム4,000千円 ・インターンシップ仲介5,000千円 ・地域、地域大学連携イベント1,500千円 ・地域企業への若者に対する理解力向上教育プログラム2,000千円 ・コミュニケーションプロモーション費用2,000千円 ・市外の若者を地元企業で受け入れるプログラム2,500千円						
主なKPI	①プロジェクト参加企業による新規雇用者数（+33人） ②プロジェクト参加者の起業数（+5件） ③プロジェクト参加者数（+450人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kurayoshi.lg.jp/8424.htm

事業概要：稼ぐ農業から観光へ、活気ある倉吉創生事業

継続

申請者	鳥取県倉吉市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	315,880千円 (109,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	地域の魅力を観光商品として磨き上げ、プロモーションから販売までを地域で実行し稼げる体制を構築、持続的な観光客数の増加とツアー販売額の向上を目指す。 倉吉西瓜で培った稼げる農業をさらに発展させるため、PRによる認知度向上、農産品のブランド化、加工商品の開発を推進。農産品の販売額向上から、農業による地域の魅力向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 台湾・韓国・中国等を対象とした市場調査に基づき観光戦略を構築し、食文化体験やたたら製鉄、関金地区連携による滞在型ツアー開発を進めることで観光消費と雇用の拡大を図る。また、鍛冶・刀剣文化を活かした高付加価値商材を越境ECで展開し倉吉ブランドを確立する。さらにスイカ・梨・わさび等の情報発信と6次産業化支援により農産品の販路拡大と移住促進を実現する。					観光地魅力創造事業 市場を知る！ 倉吉商材マーケティング 課題: ターゲット層理解不足、収益化不十分 施策: マーケティング調査・ニーズ・受容性把握 未来: 市場認知度向上、販売チャネル確立 倉吉体験！ ツアー開発 課題: 滞在時間短め、地域資源が不十分 施策: ターゲット層に合わせたツアー開発 未来: 宿泊施設連携、雇用創出持続可能な観光地 倉吉ブランド！ 高付加価値商材開発 課題: 鍛冶・刀剣文化活用不十分 施策: 文化深掘り・ストーリー化・高付加価値商品販売 未来: 倉吉ブランド確立、新観光資源創出 農業産品高付加価値化・観光移住促進事業 倉吉の恵み！ 農産物プロモーション 課題: プロモーション力弱い、都市部認知度低い 施策: 特産品情報テキスト化、都市部プロモーション 未来: 認知度向上、国内市場販路拡大、新規顧客獲得 倉吉産！ 農産物加工品開発 課題: 6次産業化進まず、商材開発知識不足 施策: 地元企業商材開発支援 未来: 倉吉ブランド価値向上、地域産業競争力強化 倉吉の「宝」を磨き、国内外へ発信！ 活気あふれる「稼ぐ地域」へ 交流人口増加: 観光客・移住者増加 地域経済活性化: 雇用創出・税収増 持続可能な地域社会: 文化・伝統継承、自然環境保全	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 「稼ぐ地域」をめざす観光地魅力創造事業 ・海外販路調査開拓（委託料）15,000千円 ・地域の食ツアー開発・地域の体験ツアー開発（委託料）26,000千円 ・高付加価値商材開発（歴史文化の深堀、鍛冶、刀剣文化）（委託料）23,000千円 農業産品高付加価値化、観光・移住促進事業 ・農産物テキスト化・都市部プロモーション（委託料）25,000千円 ・観光産品開発（委託料）20,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内観光入込客数（+208,638人） ②開発ツアー販売額（+10,125,000円） ③開発商材販売額（+10,100,000円） ④開発ツアー参加者数（+710人） ⑤プロモーションイベント来場者数（+6,000人）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kurayoshi.lg.jp/8424.htm

事業概要：銀行の元支店を活用した「新しい働き方」と「空き家利活用」の促進を目指した複合施設整備事業

継続

申請者	鳥取県倉吉市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	137,462千円 (26,842千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本市中心市街地に位置する銀行の元支店（空き店舗）をビジネスや空き家情報が集まる複合施設として改修整備する。 IT・デザイン・企画といったクリエイティブ系企業のサテライトオフィスや人材育成の拠点とし、従来の産業構造や就業構造の変革を図り、若者や女性が希望する職が十分整い、生き生きと仕事や生活ができる環境を創出することで、シビックプライドの醸成を図り市民が主体的にまちづくりを進めていき、誰もが楽しく暮らせる倉吉市を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市中心市街地に位置する銀行の元支店（空き店舗）をビジネスや人材育成、空き家利活用に関する拠点となる複合施設として改修することで、県外企業のサテライトオフィスの進出支援を通じた産業構造・就業構造の変革や若者の働く場の確保、空き家の利活用を促進し、定住人口の増加やまちの活性化を目指す。 2年目となる今回は、1年目に整備した当該施設をまずは知ってもらい利用してもらうことを目的に、利用者交流イベントや誘致企業と地元企業のビジネスマッチング、人材育成事業で生まれたテレワーカーの就業支援を実施。地方進出検討企業へのアプローチや市民向けのテレワーカー育成事業を引き続き継続し、進出企業の増加や人材育成を図る。					 ▲サテライトオフィス視察ツアー ◀複合施設「くらしごとBASE」外観	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・整備拠点にぎわい創出事業（委託料）6,555千円 ・サテライトオフィス誘致事業（委託料）7,410千円 ・テレワーカー育成事業（委託料）5,341千円 ・空き家活用サポートセンター運営事業（委託料・賃借料）7,536千円					 ▲テレワーカー育成事業 ◀複合施設「くらしごとBASE」内観	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①社会減の逓減（+90人） ②本市に進出した県外企業のサテライトオフィスの数（+10社） ③市が実施するテレワーカー育成講座の受講者数（+100人） ④市内に存在する空き家の数（▲96件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kurayoshi.lg.jp/12929.htm

事業概要：倉吉「人的資本」最大化プロジェクト事業～デジタル技術を活用した地場産業の魅力発信と生産性向上～

新規

申請者	鳥取県倉吉市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	112,605千円 (18,205千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・若年層の流出と地場中小企の深刻な採用難・人材不足という構図的課題をデジタルで解決する。 ・市内事業者が抱える「デジタル活用の必要性和実行力のギャップ」を埋め、産業基盤を底上げする。 ・学生が地元で「学ぶ・働く・成長する」という、地域内での人的資本の最大化と循環を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市場調査で、市内事業者の81.2%がデジタルの重要性を認識する一方、66.5%が人材不足に直面している実態が判明した。倉吉市はこのギャップを埋めるべく、VRでの職場可視化で若者の就職を促す「魅力発信」と、SEを共有する「エンジニアシェアリング」による「DX伴走支援」を推進する。3年間で行政から民間自走モデルへ移行し、2035年度までに25社の生産性向上を達成。若者が地元で「学ぶ・働く・成長する」好循環を地域に定着させる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・VRで可視化して学生と企業との接点を増やす（委託料）11,605千円 ・DX支援（外部人材が地域企業に入って生産性を上げる）（委託料）6,600千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①DX伴走支援による生産性向上額（+76,200千円） ②DX伴走支援による生産性向上企業数（+16社） ③市内高校、短大に通う就職希望者のうち市内就職者の割合（+4.5%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kurayoshi.lg.jp/12930.htm 令和8年7月公表予定

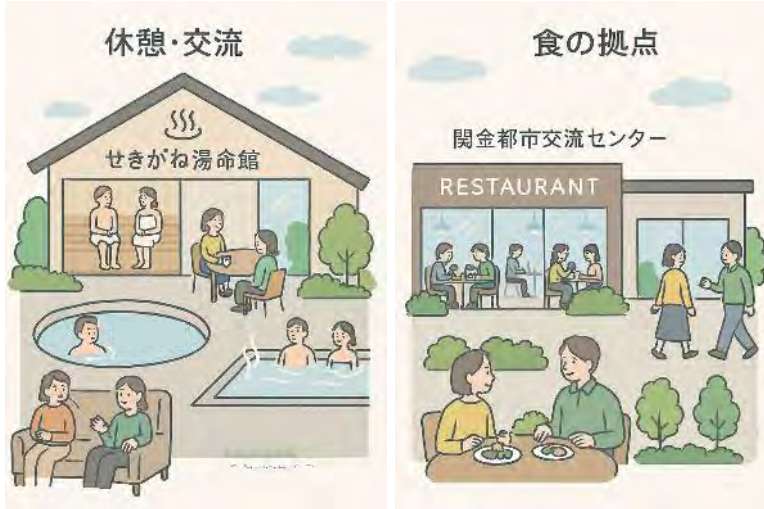
事業概要：欧米長期滞在者をターゲットとした倉吉市の観光戦略策定とその実践事業

新規

申請者	鳥取県倉吉市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	296,000千円 (115,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・倉吉の昭和レトロ景観と生活文化を「ノスタルジックリゾート倉吉」として世界観化し、消費機会を束ねることで、消費の拡大を目指す。 ・映画公開を最大の認知獲得機会とし、来訪動機を周遊・体験参加・宿泊へ転換、公開後も継続する誘客に繋げる。 ・地域協力で蓄積された受入経験を、役割分担・連絡体制・対応手順等のルールとして定着させ、接遇力向上を継続的に測る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 倉吉の白壁土蔵群等の昭和レトロ資源を核に、映画公開期の需要を取り込みつつ、公開後も持続する滞在型観光へ転換するため、(1)世界観・滞在価値の言語化と事業者・住民への共有、(2)住民交流・生活文化を活かした体験メニューの造成と運用、(3)ロケ地（物語体験ルート）整備と撮影協力を通じた受入体制の標準化、(4)多言語情報→回遊→予約→参加登録までのデジタル導線整備、(5)映像発信・映像コンテストによる継続的PR素材の創出を一体で実施する。これらの事業により、体験・飲食・宿泊へ消費を波及させ、地場産業の稼ぐ力を底上げする。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・調査・設計（世界観・滞在価値の整理、導線要件整理等）30,000千円 ・ブランド概念作成（コンセプトブック等）20,000千円 ・交流型体験の実証（住民交流・生活文化体験の試行）5,000千円 ・ソフトコンテンツ整備（体験造成・運用）20,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（年間）（+251,551,231円） ②ロケーションツーリズム参加者数（+5,200人） ③NFC交流データ件数（+89,000件） ④海外向けメディア露出数（+175件） ⑤フランス人宿泊者数（492人泊）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kurayoshi.lg.jp/12927.htm

事業概要：関金湯命館・都市交流センター観光拠点化事業

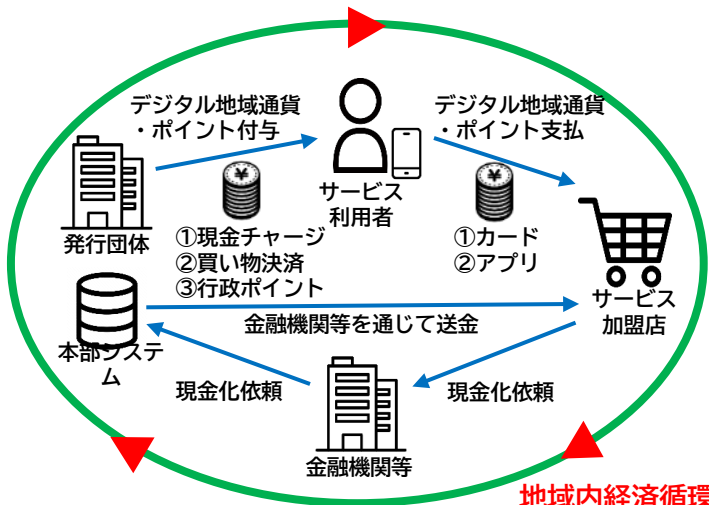
新規

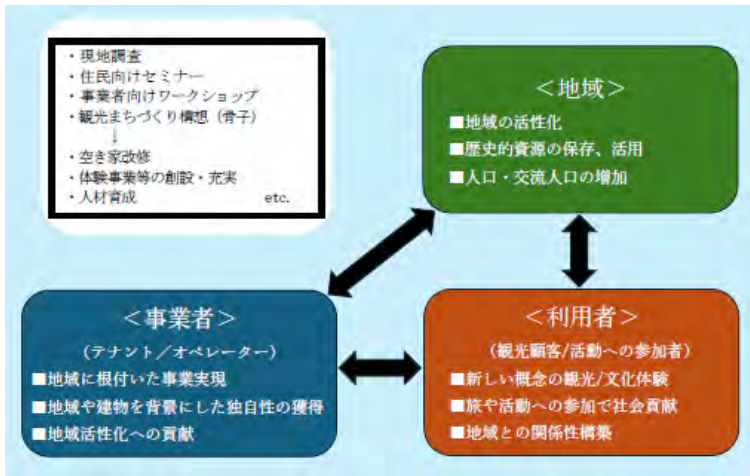
申請者	鳥取県倉吉市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,041,272千円 (15,180千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	せきがね湯命館の入浴機能の向上を核に、それに合わせた“食の拠点機能”を整備し、観光客の域外流出を防ぐ。施設内での滞在時間を増やす導線設計や体験メニュー追加による入浴前後の消費の積み上げを行う。健康増進体験の価値を向上させるため、施設の温泉入浴機能等の向上による、新規顧客とリピーターを確保する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 湯命館と隣接する関金都市交流センターを一体的に改修し、レストラン機能を都市交流センターへ移設、外部から直接利用できる“食の拠点”を形成する。湯命館側は旧レストラン等を活用して休憩スペースと交流スペースを整備し、滞在中の消費ポイントを強化する。 地域内の農産物・加工品等の地場産品を、観光・温浴の滞在消費（飲食）に組み込み、商品力と提供体制を磨き、情報発信により利用者と売上を継続的に伸ばすことで、地場産品の付加価値向上と販路（消費接点）の拡大を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 令和8年度経費 ・基本設計業務 10,120千円 ・実施設計業務（前期分） 5,060千円 （合計） (15,180千円)						
主なKPI	①観光消費額（年間）（+24,283,764円） ②施設利用者数（年間）（+13,937人） ③施設利用者単価（+102円） ④交流スペースイベント開催数（年間）（+11回）					URL	https://www.city.kurayoshi.lg.jp/12928.htm
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値							

申請者	鳥取県境港市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	56,030千円 (30,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・本市の中心市街地において、海辺（境水道）に面した緑地や道路、沿道の建物等が持つ魅力を再認識するとともに、新たな利活用方法を検証し、より多くの市民や観光客が行き交う公共空間としてリノベーションすることで定住・移住を促進する。 ・JR境線やAI活用型オンデマンドバス「みなとーる」等の、既存の公共交通の更なる利活用や、シェアサイクルや水上輸送等、新たな移動手段の導入検討など交通ネットワークを整備することにより、市民の移動の活発化や訪日旅客を含め観光客等の周遊性を高め、地域経済の活性化につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・官民が連携し、山陰を代表する観光地である「水木しげるロード」の周辺に新たな魅力を加え、市の中心市街地を再構築する計画を策定する。 ・計画では、市民が集う公共空間の象徴となる施設の整備や市民参画の方向性を示すとともに、若者の積極的な参画につながる方策を検討する。 ・AI活用型オンデマンドバス「みなとーる」の拡充により、中心市街地への往来を拡大しこのエリアの拠点性を高め、沿道での新規創業等、経済活動を活発化させるとともに、若者から高齢者まで多くの世代に魅力のあるエリア形成を図る。					中心市街地 境水道  【境水道の風景】  【境港市都市計画総括図】	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・中心市街地リノベーション計画策定（検討・策定） 20,000千円 ・中心市街地の再構築に向けた市民ワークショップ開催等 10,000千円						
主なKPI	①中心市街地の入込客数（+6万人/年） ②「みなとーる」乗客数（+6千人/年） ③新規創業件数（累計）（+3件） ④人口の社会増減（+120人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.sakaiminato.lg.jp/?view=106563 (編集集中)

事業概要：デジタル地域通貨を活用した地域内経済循環促進事業

継続

申請者	鳥取県若桜町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	27,036千円 (4,375千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	若桜町内でのみ利用可能な「デジタル地域通貨・ポイントサービス」を実装し、町外に流出している消費を町内へ取り戻す、町内消費を促進することで、地域内経済の好循環・商工業界の活性化を図るとともに、町独自の行政ポイントの発行も併せて実施し、町事業の推進による各種課題解決や地域コミュニティの活性化を図るなど持続可能なまちづくりへ繋げる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 デジタル地域通貨・ポイントサービスを構築し、ICカードとアプリを併用することで、高齢者を含め誰もが利用しやすい決済環境を整備する。現金チャージや決済時に加盟店負担でポイントを付与し町内消費を喚起するとともに、行政ポイントの付与や各種交付金のポイント化、キャンペーンの実施により来店・事業参加を促進する。これにより消費の町外流出を抑制し、地域経済の好循環と商工業の活性化、持続可能なまちづくりの実現につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 〇ソフト事業 ・デジタル地域通貨・ポイントサービスの機能拡充事業 デジタル地域通貨・ポイントサービスの機能拡充に要する経費（委託料）561千円 ・デジタル地域通貨・ポイントサービス運用事業 デジタル地域通貨・ポイントサービス運用事業（委託料）3,814千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①起業・創業・継業者数（+15件） ②デジタル地域通貨・ポイントサービス決済額（+7億693万1千円） ③デジタル地域通貨・ポイントサービス加盟店売上額の増加割合（+10%） ④デジタル地域通貨・ポイントサービス利用者数（+1,340人） ⑤デジタル地域通貨・ポイントサービス加盟店数（+80店舗）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.wakasa.tottori.jp/soshikikarasagasu/kikakuseisakuka/index.html

申請者	鳥取県若桜町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	26,841千円 (15,709千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	人口減少・高齢化の進行、空き家・遊休資産の増加、地域産業の衰退など、複合的かつ構造的な地域課題を解決するため、町の資源や人の流れを見直し、地域の価値を再構築する観光を切り口としたまちづくりの推進が求められている。本事業では、地域の歴史的資源や景観、自然、文化的営みを一体的に捉え、「住む人・訪れる人・関わる人」が協働して町の魅力を高め、持続可能な地域社会の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若桜町が直面する人口減少・空き家の増加・産業衰退といった地域課題に対し、空き家を活用した宿泊施設や体験拠点の形成を核としながら、人材の育成や地域住民・事業者との共創による地域振興戦略を策定し、持続可能な地域経済の再構築と関係人口・移住定住人口の増加を図る。歴史的建造物や空き家を「宿泊」「交流」「体験」「事業創出」の拠点として位置づけし観光・関係人口創出の核とし、来町者の増加を通じて、地元事業者の所得向上や雇用機会の増加、創業機運の醸成を促す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 まちづくり人材発掘・育成のための事業者向けプログラム ・町内事業者向けワークショップ・育成講座等開催経費、講師旅費（委託料）：1,671千円 観光まちづくり構想策定 ・事業構想策定プロジェクト支援経費、現地（若桜町）調査経費（委託料）：9,592千円 構想実現のための物件調査等 ・現地（若桜町）物件実地調査経費、設計士等専門家旅費、活用ラフプラン作成経費（委託料）：4,446千円						
主なKPI	①観光消費額（+14,948,000円） ②空き家の利活用（+4軒） ③創業・継業者数（+4件） ④宿泊者数（+750人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.wakasa.tottori.jp/soshikikarasagasu/kikakuseisakuka/index.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：八頭若桜谷地域周遊促進事業

継続

申請者	鳥取県八頭郡八頭町及び若桜町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	56,553千円 (20,270千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野（大項目）	強い経済分野
目的・効果	八頭若桜谷地域の魅力を国内外に積極的に発信し、認知度を向上させつつ、域内イベントの集客力の強化や二地域居住等による滞在の提案等を行うことにより、域内の人の流れを創出し、地域の賑わい創出と産業振興を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】時代の流れの中で連綿と八頭若桜谷地域に受け継がれてきた自然や財産、歴史や文化、地域の拠点となっている「隼Lab.」や「あーとふる八頭」、沿線全体が国の登録有形文化財に指定された「若桜鉄道」等といった地域の特色や強みを最大限活用しながら、地域の新たなイベント創出や既存イベントの拡充を図りつつ、スロートリップでの域内周遊の提案や二地域居住体験を実施することにより、多くの域外居住者に八頭若桜谷地域への関心を寄せていただき、関係人口を拡大させながら、域内各地への人の流れを定着化させていくことにより、地域の賑わい創出と産業振興を図っていく。						
	【ソフト事業】 ○八頭若桜谷地域の魅力発信に関する事業 ・まちの魅力の情報発信（委託料）4,000千円 ・若桜鬼ヶ城に関する時代小説等の作成 3,500千円 ○域内周遊の促進に関する事業 ・「隼駅まつり」の開催（委託料）1,500千円 ・若桜鉄道活用イベントの実施（委託料）2,330千円 ・スタンプラリーの実施（委託料）1,400千円 ・地域資源を活用した商品の開発（委託料）2,000千円 ・ツアーモデルの試作（委託料）1,000千円 ・子育て家庭の域内周遊促進（委託料）3,660千円 ・二地域居住のモニターツアー実施（委託料）880千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数（+4,500人） ②若桜鉄道普通旅客乗客数（+2,100人） ③イベント参加者数（+2,400人） ④二地域居住モニターツアー参加者数（+12人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	八頭町 https://www.town.yazu.tottori.jp/soshiki/11/17539.html 若桜町 https://www.town.wakasa.tottori.jp/soshikikarasagasu/kikakuseisakuka/1/machidukuri_suishinnshitu/1914.html

事業概要：八頭町多世代交流モデル拠点整備事業

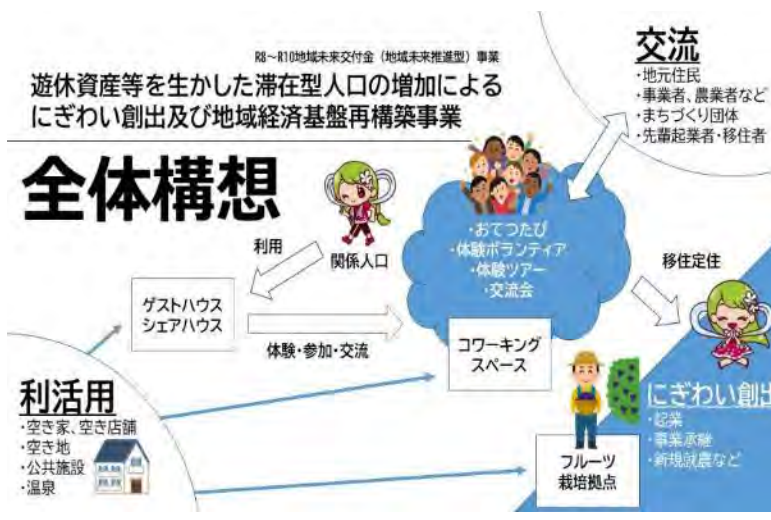
新規

申請者	鳥取県八頭郡八頭町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	408,311千円 (386,586千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野（大項目）	豊かな生活環境分野
目的・効果	多世代交流のモデル拠点を新たに整備し、地域の特色を生かした地域づくりへの町民の主体的意識の醸成と参画を促進する。多世代や域外地域にも開かれた拠点づくりを進め、「子どもから高齢者までが集い、遊び、学び、繋がる施設」を運営し、持続可能な地域づくりを進め、地域課題である少子高齢化、人口減少を抑制することを目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 廃校となった旧八東小学校の校舎、プール跡（除却済み）を活用して造成し、「八東地区コミュニティセンター（仮称）」を八頭町東地内に設置する。 施設内にオープンカフェを併設し、地域の住民や施設利用者が語らい、触れ合えるスペースを提供するほか、天候や季節を気にすることなく子どもたちが自由に遊べる遊具があるエリアを整備し、様々な世代が憩える環境を提供して地域の拠り所となる施設とする。					 画像はイメージ(現在検討中のものであり、変更となる可能性があります。)	
	【拠点整備事業】 ○八東地区コミュニティセンター（仮称）の整備 監理委託業務・本体建築・外構整備 366,586千円 プロジェクター、遊具等備品の整備 20,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地区内人口（-83人） ②施設利用者数（+3,000人） ③施設が主催するイベント、教室等の開催件数（+50回） ④地域住民等が主催のイベント開催件数（+20回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.yazu.tottori.jp/soshiki/11/17539.html

申請者	鳥取県湯梨浜町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	43,927千円 (9,352千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	湯梨浜町発祥のグラウンド・ゴルフが世界的に健康増進のための生涯スポーツとして普及することにより、インバウンドの拡大等による地域経済の活性化をもたらし、町民の誇りを醸成させ、人や資源がより輝く魅力的な「グラウンド・ゴルフの聖地」を創出する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・国際連盟と連携し、各国で政府機関等に対してグラウンド・ゴルフの特長を説明するとともに、協会等の支援を要請する。 ・グラウンド・ゴルフを主要コンテンツとした旅行商品を造成する。 ・日本の愛好者から集めた用具を再生して海外のグラウンド・ゴルフ協会等に提供するほか、海外用具販売体制を支援する。 ・湯梨浜町ならではの「発祥地モデル」用具を製作し、海外への提供・販売を通じて海外における発祥地の知名度を高める。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・海外協会等体制強化及びWMG等PR3,810千円 ・海外向けグラウンド・ゴルフ体験型旅行商品販売促進2,942千円 ・中古用具等提供1,905千円 ・用具海外販売促進695千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①外国人宿泊客数（+8,951人） ②海外用具販売額（+4,200千円） ③中古用具提供数（+2,340本） ④国際グラウンド・ゴルフ連盟加盟国数（+7か国）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.yurihama.jp/soshiki/7/8207.html (効果検証) https://www.yurihama.jp/soshiki/7/1546.html

事業概要：遊休資産等を生かした滞在型人口の増加によるにぎわい創出及び地域経済基盤再構築事業

新規

申請者	鳥取県湯梨浜町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	100,775千円 (31,165千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	持続可能な地方創生を達成するためには、単に人口を維持するだけでなく、町内で「働く」「消費する」機会を創出し、地域経済の活性化と自立化を図る必要がある。遊休資産等を活用して新たな「滞在・交流・消費」の場を創出し、温泉街周辺の失われたにぎわいを取り戻すとともに、町外から多様な目的を持った人々を呼び込み、地域経済の再構築を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 空き家・空き店舗等の遊休資産を活用したゲストハウス整備や「おてつたび」等の仕組みを通じて滞在者を呼び込み、コワーキングスペースの整備により快適な滞在環境を創出することで関係人口の拡大と地域経済の活性化を図る。また、ゲストハウス経営者・移住コーディネーター・町商工会等と連携し、滞在者の起業・事業承継・就農を促進することで担い手確保と移住定住につなげる。さらに、東郷湖の温泉熱を活用した「温泉フルーツ栽培」施設を整備し、年間を通じた多様なフルーツの供給体制を構築するとともに、新規就農者の育成や6次産業化により新たな地域経済基盤の確立を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・「おてつたび」を活用した労働力の補完と関係人口の創出2,886千円 ・新しい地域経済基盤モデル「温泉フルーツ栽培」の確立化5,009千円 ○ハード事業 ・ゲストハウス等の整備による滞在機能の再構築化6,000千円						
主なKPI	①ゲストハウス等の利用者数（+500人） ②起業数（+35件） ③事業承継着手事業者数（+6件） ④新規就農者数（+6人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.yurihama.jp/soshiki/7/1546.html

事業概要：日韓友好資料館サイクルステーション拠点整備事業

継続

申請者	鳥取県琴浦町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	46,123千円 (1,980千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・サイクルを活用して地域経済の活性化を図り、町内に観光を通じた新たな産業と雇用を創出する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ①鳥取うみなみロードの中間地である日韓友好資料館を模様替えし、レンタサイクルや修理工具を設置したサイクルステーションとして再整備。 ②町の海側の「観光」と「食」を活用し、通過型から脱却し滞在時間延伸による観光消費拡大を図る。 ③当施設を活用した着地型観光商品を提供する民間事業者の誘致を検討し、観光を通じて町内に持続可能な新たな産業と雇用を創出する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業経費 合計 1,980千円 ・サイクルステーションオープン記念式典・イベント実施委託料 1,100千円 ・アドバイザー報酬金 880千円						
主なKPI	①琴浦町観光入込客数（+180,000人） ②道の駅ポート赤碕観光入込客数（+80,500人） ③レンタサイクル延利用者数（+300人） ④サイクルイベント参加者数（+150人）					URL	https://www.town.kotoura.tottori.jp/docs/2025080400012/
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値							

事業概要：ワイナリーを核とした地域活性化事業

新規

申請者	鳥取県琴浦町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	44,850千円 (16,850千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・「稼げる農業」の構築に向けたブドウの生産体制整備と担い手育成を推進する。 ・「琴浦＝ワインの町」のイメージ定着による地域ブランドの認知度向上と強化を図る。 ・ワイナリーを目的地とした広域誘客の促進と滞在・回遊型観光への構造転換を図る。 ・ワインを軸とした異業種連携による地域産品の付加価値最大化と販路の拡大を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本プロジェクトは、ワイナリーを核に「農商工連携による持続可能な地域経済」を確立する戦略的取組である。栽培の高度化と耕作放棄地再生により10ha規模の生産基盤を構築するとともに、戦略的PRを通じて年間2万人の広域誘客を実現する。さらに、ワインと町産品のペアリングによる異業種連携を強力に推進し、地域内経済循環を最大化する。これらの施策を連動させた高収益な6次産業化モデルの確立により、次世代が定着できる持続可能な雇用を創出する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・醸造用ぶどう栽培に係る栽培コンサルティング業務（委託料）5,000千円 ・醸造用ぶどう栽培に係る耕作放棄地再生補助金 3,000千円 ・ワインフェア・試飲会等イベントを通じた特産品のPR事業 1,500千円 ・外部専門家による地域活性化事業サポート業務（委託料）3,000千円 ・広域ターゲット誘客のための集中プロモーション事業 550千円 ・デジタルメディア活用による「ワインのまち琴浦」ブランディング事業 300千円 ・広域観光拠点へのアクセス向上・周遊促進事業 3,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①ワイン売上高（+62,227千円） ②新規雇用者数※パート雇用含む（+13人） ③年間来場者数（+20,000人） ④醸造用ぶどう農地面積（+3ヘクタール） ⑤ふるさと納税の寄附実績（+10,000千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.kotoura.tottori.jp/docs/2025080400012/

事業概要：旧保育園を活用した「森の楽園（がくえん）」地域交流センター整備事業

新規

申請者	鳥取県琴浦町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	227,236千円 (18,920千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	旧保育園を活用した地域交流センターを再整備し、少子高齢化・人口減少が加速する中、地域の特性を生かしたまちづくりを推進するとともに、新たな交流、活動及び地域経済の活性化を促進し、安定的で持続可能な地域コミュニティの形成を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 旧保育園である施設を多目的に活用できる空間に整備し、地域住民の日常利用から地域内外に向けたイベント開催まで対応できる環境を構築する。この整備により、従来の施設では困難であった多様な活動を可能にするとともに、整備後には新たな交流人口の創出や施設を利用した農産物の販売等、地域経済の維持及び拡大を目指す取組を実施していく。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・旧古布庄保育園の模様替え工事に係る設計 18,920千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地区人口の維持（▲115人） ②施設利用者数（+800人） ③町内の地区外の交流人口（+340人） ④町外の交流人口（+160人） ⑤町内外に向けたイベント回数（+3回） ⑥地域コミュニティ活動件数（+10回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.kotoura.tottori.jp/docs/2025080400012/

事業概要：青山剛昌ふるさと館を拠点とした地域再生事業

継続

申請者	鳥取県北栄町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,303,456千円 (1,655,654千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	世界中から多くの観光客が訪れる青山剛昌ふるさと館を整備し、集客・観光消費額・関係事業者の収益の増加を図る。これを起点として、関係産業の拡大や、北栄町を商機と捉える人の呼び込み、町民が新しい町の魅力を享受して愛着を深め、持続可能な地域の好循環を生み出す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、青山剛昌ふるさと館を由良川沿いへ移転・再整備し、体験型展示や屋外広場、交流機能を備えた観光・交流拠点を整備するものである。米花商店街やコナン駅との周遊性向上、北栄町産フルーツを活用した体験造成、国内外への情報発信を通じて観光消費と滞在時間を拡大する。併せて若者・女性の参画や空き家活用を促進し、関係人口・定住人口の創出と地域経済の好循環を図る。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ※主なもの 「稼ぐ力」の強化と地域経済循環の活性化事業 ・観光戦略策定・商材開発・地域内観光消費額増加など (委託料) 36,260千円 ・創業支援・高付加価値生産 (補助金) 12,500千円 住み続けるまちづくり事業 ・情報発信・事業化相談・コミュニティ支援など (委託料) 18,918千円 ・経営支援・イベント実施など (補助金) 13,915千円 住み続けたいまちづくり事業 ・町民がまちづくりに関わるプログラムなど (委託料) 11,180千円 ・若者交流の場を大々的に開催 (補助金) 7,881千円 ○拠点整備事業 建築工事、敷地整備等を実施 ・建築物本体工事 770,000千円 ・電気設備工事 172,000千円 ・機械設備工事 374,000千円 ・敷地造成工事 129,000千円 ・舗装工事 110,000千円						
主なKPI	①地域における観光消費額（+840,467千円） ②ふるさと館の入館者数（+99,393人） ③ふるさと館周辺エリアの新規出店件数（+14件） ④年間移住者数（+60人） ⑤町民の満足度（+6.6%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.e-hokuei.net/site/kankou-event/1716.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：日吉津村「官民連携による持続可能なまちづくり事業」

旧制度（推進）

申請者	鳥取県日吉津村	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	82,500千円 (20,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・子育てするなら「日吉津」と言われる村を目指し、子育て世代の流入を図る ・住むなら「日吉津」と言われる村を目指し、総合的な移住支援を行い、移住者の増加を図る ・地域資源を活かした賑わいの創出を図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 民間人材をシティマネージャーとして採用し、役場職員・銀行職員・民間人で構成する「事業実践チーム」を編成することで、移住支援・観光事業等を一体的に推進する体制を構築する。老朽化が進む海浜運動公園をPark-PFI等の官民連携手法により再整備し、現代的な需要に対応した施設として魅力化を図るとともに、新規イベントの開催により関係人口・交流人口の拡大と若者雇用の創出を目指す。あわせて、多様なメディアを活用したシティプロモーション事業により村の魅力や子育て支援サービス等を広く発信し、若者・子育て世代の移住定住促進と人口流出防止を図る。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ①「事業実践チーム」編成とシティマネージャー事業 ・「事業実践チーム」プロジェクトマネージャー費 3,000千円 ・地方創生シティマネージャー（専門人材） 8,000千円 ②海浜運動公園の魅力化事業 ・海浜運動公園整備支援事業 5,000千円 ③シティプロモーション事業 ・動画作成、SNS活用などPR広告費 4,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①日吉津村への移住者数（人口社会増の数） 45人 ②海浜運動公園利用者数 36,000人 ③民間住宅整備棟数 30棟		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.hiezu.jp/cl/685cse6r

事業概要：日吉津村海浜運動公園再整備事業

継続

申請者	鳥取県日吉津村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,102,344千円 (590,616千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	スポーツ、アウトドアを軸とした観光・交流の拠点としての海浜運動公園の魅力化を図る。 関係人口を増加させ、安心して子どもを育てられる地域として定住を促進し、地域経済の活性化を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 2025年度に整備したスポーツアウトドアアクティビティ拠点と連携した、全天候型の空間で安心安全に遊べる子どもの遊び場と子育て世帯の交流の場を整備する。また、子育て世代だけでなく、様々な世代の方の利用をかなえるグランピング施設等の整備を行うことで、世代間交流を創出するような空間を目指していく。整備予定地は、現在イベントやマルシェでも活用される環境であるため、よりイベント利用のニーズに応える空間整備を合わせて行うことで、地域外からの来訪者も増やし、関係人口の増加に繋げていく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・プロモーション事業 3,000千円 ○拠点整備事業 ・子育て交流拠点施設建築工事費 564,828千円 ・建築物と不可分な設備工事費 16,000千円 ・駐車場整備費 22,788千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①海浜運動公園利用者（+12,00人） ②キャンプ場利用者（+2,000人） ③新設商業店舗（+1店） ④人口の社会増（+45人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.hiezu.jp/cl/685cse6r

事業概要：日吉津村地域資源を活用した新商品開発と販路開拓事業

継続

申請者	鳥取県日吉津村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	852,724千円 (57,001千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	市場から見て価値のあるものを創り販売するために、既存の施設内に、日吉津村の産品を販売するショップを整備し、テスト販売、テストマーケティング、試食会を実施する。また、「売れる商品」「付加価値のある商品やサービス」を見極め、新商品開発を行う加工所を新たに整備する。 外部経済を取り込み、地域に根差した新たな産業を振興し、その新商品と呼び水としたさらなる新商品開発の循環を作り、県の内外に魅力ある日吉津村の産業をアピールすることで、日吉津村の地方創生を進める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域全体の経済を活性化させるため、地域資源を活用した新商品や新メニューを開発するとともに、販路開拓を行う。また、ビジネス人材の育成、スタートアップ人材の発掘を行う。さらに、既存施設内にアンテナ店舗を整備し、テスト販売等を行う。 また、栽培・経営モデルの検証・確立、新規就農者の確保を目的に、村で加温栽培の試験ハウスを整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・商品開発費支援事業 9,900千円 ・販路開拓事業の実施 6,000千円 ○拠点整備事業 ・農業用ハウス整備 41,101千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農業の担い手（+3人） ②新商品の開発（+6件） ③ビジネス人材、スタートアップ人材の発掘（+4人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.hiezu.jp/cl/685cse6r

事業概要：大山町持続可能な地域基盤構築事業

継続

申請者	鳥取県大山町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	182,515千円 (89,320千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	地方創生にかかる国、県の新たな視点や社会情勢の変化等を踏まえて以下の3つの基本目標を設定し、効果的な取り組みをさらに深掘りしつつ、新たな可能性も模索していきます。 基本目標1　《ひと》多様な人が活躍できる環境を整え、地域に根差した魅力的な人材を育成・誘致する 基本目標2　《くらし》安心安全に暮らせる地域づくりを進め、いつまでも住み続けたい町を実現する 基本目標3　《しごと》地域の資源を活かし、魅力的で持続可能な産業を発展させる						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、大山町が抱える人口減少や産業担い手不足といった構造的課題に対し、「ひと・くらし・しごと」の三分野を横断的に強化する取組である。教育・国際交流・リスキングや地域外人材との交流により多様な人材の育成と定着を図り、医療・福祉、防災、住環境整備により安心して暮らせる基盤を再構築する。あわせて農林水産業のスマート化支援や観光・6次産業化を通じて雇用と所得を創出し、持続可能な地域経済循環の確立を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・多様な人が活躍できる環境を整え、地域に根差した魅力的な人材を育成・誘致する事業 80,970千円 ・安心安全に暮らせる地域づくりを進め、いつまでも住み続けたい町を実現する事業 2,550千円 ・地域の資源を活かし魅力的で持続可能な産業を発展させる事業 5,800千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①IJUターン者数（+125人） ②社会増減者数（+5人） ③年間創業者数（+30件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.daisen.jp/10/19/u137/

事業概要：フルーツロード構想を核とした地域経済基盤整備事業

申請者	鳥取県南部町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	126,142千円 (39,689千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野（大項目）	地場産業支援関連事業
目的・効果	・当町の特産である梨、柿、ブルーベリー等の果樹産地を核に、農園の収穫体験や加工体験等の観光コンテンツを整備することで、単なる果樹生産に終わらず複次的な「稼ぐ地域」を形成する。 ・地元農産物を使用した特産品やご当地メニューを開発し、商品の販路開拓を行うことで、農産物の6次化を推進し、付加価値を向上させる。 ・後継者不足、耕作放棄地に悩む農業（特に果樹）の新たな担い手として、都市部等から移住者の獲得を行う。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 当町の特徴である魅力的な果樹生産をベースに、生産基盤整備や観光、新商品開発を組み合わせ、1年中フルーツが楽しめる町づくりを目指します。 「観光」では、農園や観光スポットを繋ぐ周遊ルートを確認し、収穫体験等の体験コンテンツを充実させていくほか、インバウンド受入の体制整備を行います。 「新商品開発」では、地元農産物を使用した新商品開発を行い、開発した商品については都市部企業と連携したPR・販路開拓を行っていきます。 「生産基盤整備」では、初心者でも取り組みやすいイチゴ生産を推奨し、都市部等から移住を伴う就農者を獲得し、担い手の確保を進めます。						
	【ソフト事業】 ・収穫体験や加工体験プログラム等の観光コンテンツを整備（補助金）6,078千円 ・インバウンド受入のための多言語・多文化対応プログラムを作成し、地域の利害関係者へ講習する（負担金）8,000千円 ・福祉事業者が主体となり、地元農産物を加工した土産物、ご当地メニューを開発し、農福商工連携の仕組みづくりを行う（負担金）12,650千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①町内主要観光施設入込客数（+17,342人） ②高付加価値型体験プログラムの体験者数（+100人） ③移住を伴う新規就農者数（+4人） ④地元農産物を使用した土産物、ご当地メニューの売上（+800万円） ⑤イチゴ作付け面積（+26a）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公開予定

事業概要：林業先進地域が広がる！日南町型フォレスター育成プロジェクト

継続

申請者	鳥取県日南町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	252,022千円 (9,200千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	森林・林業の教育拠点を整備し、滞在型森林教育の実施や町営林業学校（林業アカデミー）の講義の一部を公開講座とすることで、観光振興による交流・関係人口の増加を図る。 デジタルツールやweb環境を整備し、既存の林業教育を強化することで、移住・定住者の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、日南町のコンパクトヴィレッジ構想に基づき、町中心地の遊休施設を改修し、森林・林業教育の新拠点を整備するものである。滞在型の森林教育や公開講座、スマート林業人材育成を可能とする講義室や展示室、学生寮を整備し、町内外からの参加を促進する。Web配信環境の導入により教育機会の地域間格差を解消し、交流・関係人口の増加と林業人材の裾野拡大を図り、将来的な移住・定住と地域経済の活性化につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・web講義関連設備設置事業 1,000千円 ・スマート林業人材育成備品購入事業 4,200千円 ・滞在型森林教育プログラム作成事業 2,500千円 ・滞在型森林教育プログラム検証事業 500千円 ・展示用パネル作成事業 1,000千円						
主なKPI	①県外からの移住者数（+27人） ②林業アカデミー卒業生の町内への新規林業就業者数（+2人） ③町外者向けの森林教育の実施件数（+46件） ④公開講座の参加者の延時間数（+200時間）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.nichinan.lg.jp/shikikarasagasu/norinka/forestry/2024/21990.html

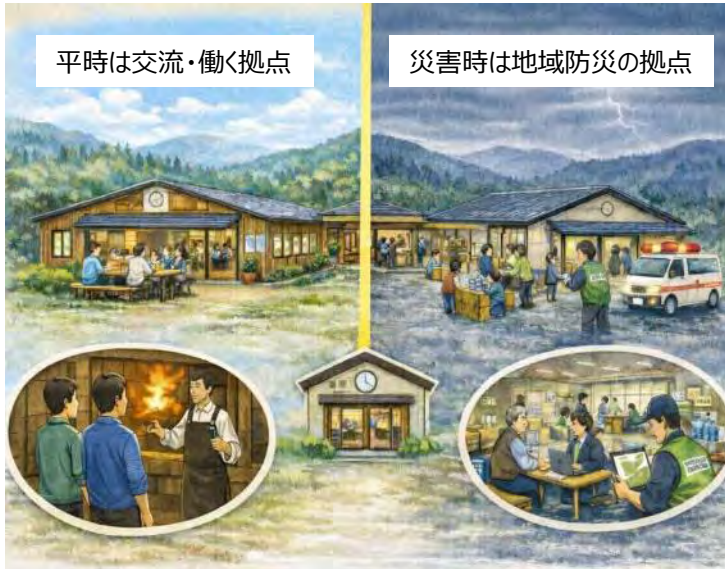
事業概要：生きた化石と人との共生～オオサンショウウオ聖地化プロジェクト～

新規

申請者	鳥取県日南町、鳥取県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,096,021千円 (200,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	特別天然記念物であり生きた化石とも呼ばれる「オオサンショウウオ」が多く生息する日南町の豊かな自然環境を活かし、その生息環境の保全とエコツーリズムを推進するとともに、観察施設等の拠点を整備することで新たな観光資源を創出する。 一方で山林の荒廃による土砂流出等により生息環境の悪化が問題となっているため、森林整備や荒廃山林の復旧を促進し、棲み処の保全を図り、エコツーリズムによる新たな観光資源の創出と共に、オオサンショウウオと人が共生する「オオサンショウウオの聖地」として地方創生に取り組む。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・森林整備や荒廃山林の復旧整備により、オオサンショウウオの生息・生育環境の保全を進める。 ・専門家によるオオサンショウウオの詳細な生態系調査の実施とエコツーリズムを推進するための「オオサンショウウオ聖地化計画」を策定する。 ・オオサンショウウオを一時保護するための池、観察施設、バイオトイレ等の拠点を整備する。 ・持続可能な保全活動を目指し、新たなツアープログラムの造成や人材育成のため、観察会やエコツアーの開催及びツアーガイドの養成講座を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○インフラ整備事業 ・森林整備事業 200,000千円 オオサンショウウオの生息環境の保全に資する森林整備を行う						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①エコツアーや観察会等の参加者数（+140人） ②森林整備面積（+200ha） ③産卵巣穴の利用数（+10個）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.nichinan.lg.jp/shikikarasagasu/kikakuka/kanko/22662.html 6月末更新目途

事業概要：大宮たたら・レジリエンス拠点構築事業～働く・備える・集う 交流拠点の創出～

新規

申請者	鳥取県日南町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	119,070千円 (119,070千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・交流・防災・働く場を一体化した地域拠点を整備し、地域コミュニティと防災力の強化を図る。 ・働く場と交流の場を結び付け、外部人材や若年層の定着・継続的な関与を促進する。 ・たたら製鉄文化を核に関係人口・交流人口を拡大し、地域経済への波及効果を高める ・身近で安全に避難できる拠点を確保し、中山間地域の安心・安全とレジリエンスを向上させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 大宮地区において、交流活動や人材受入れが単発にとどまっている現状を踏まえ、交流・働く場・防災機能を一体的に備えた地域拠点を整備する。多目的ホールやサテライトオフィス、衛生設備の整備により、地域活動や研修、外部人材の継続的な関与を促進するとともに、たたら製鉄文化を核とした交流・発信を強化する。平時は交流拠点、非常時は身近な防災拠点として機能する持続可能な地域基盤の構築を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・大宮地域振興センター改修工事 116,500千円 効果促進事業 ・展示室更新事業 2,070千円 ・地域内外交流事業 500千円						
主なKPI	①ふるさと住民登録制度登録者数 (+38人) ②農業研修生・地域おこし協力隊等の定着者数 (+466人) ③地域資源を契機として大宮地区を訪れた年間来訪者数 (+3955人) ④大宮拠点を会場とした防災訓練・防災研修の年間実施回数 (+4回)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.nichinan.lg.jp/so-shikikarasagasu/kikakuka/machiduk-urikyougikai/omiyatatara/index.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

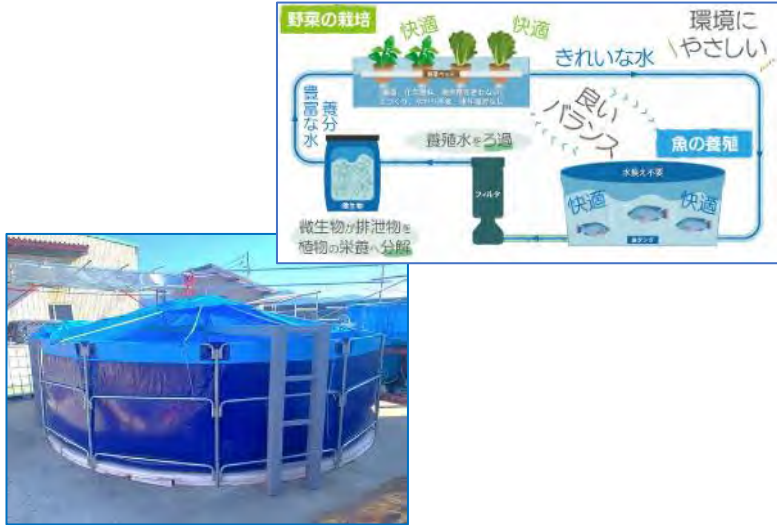
事業概要：江府町「グリーン・ネイチャー・アドベンチャーforAllCountry」展開事業

継続

申請者	鳥取県江府町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	54,000千円 (18,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・雄大な自然を有し、良質な水を育む「奥大山エリア」のブランディングを実施し、来訪者の滞在時間の延長による地域内消費の増加と満足度を高めるとともに、インバウンドの対策に取り組む。 ・「環境」を重視した「観光」の推進に取り組むことによって他の地域との差別化を図り、「環境」に共感する来訪者のニーズの受皿となることを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、奥大山エリアを「環境負荷をかけずに自然体験ができる地域」としてブランド化し、集客力と地域価値の向上を図るものである。エリア内の自然体験メニューを共通フォーマットで整理・集約し、季節に応じたイベントや広報により認知度を高めるとともに、人材育成や試験販売を通じて体験メニューの品質向上を図る。あわせて受入環境や商品開発を強化することで滞在時間と域内消費を拡大し、持続的な地域経済循環の形成につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・旅行商品の造成・高度化 6,000千円（委託料、消耗品、印刷製本費、報償費） ・受入環境の整備 2,000千円（補助金） ・情報発信と活用 10,000千円（補助金）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+463,417円） ②旅行商品パッケージ開発（+22人） ③旅行商品パッケージ利用者数（+30人） ④休暇村奥大山来訪者数（+39,721人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.town-kofu.jp/2/1/2/5-copy/1/ （効果検証） https://www.town-kofu.jp/2/1/2/5-copy/1/z109-copy/

事業概要：奥大山の水を活用した陸上サーモン養殖と水循環型野菜の栽培事業

継続

申請者	鳥取県江府町					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	284,736千円 (89,768千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	新たな産業として、サーモン養殖や食用花の出荷を掲げ、若者定住や移住者への働く場所の確保し、就労人数の増加、所得増を目指す、また若者や移住者の定着により地域の賑わいを取り戻すことを目的とする。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、廃校となった小学校の施設を活用し、豊富な水資源を活かした陸上サーモン養殖・加工拠点を整備するものである。循環型養殖技術やAI・自動給餌等のDXを導入し、通年生産による安定雇用と所得向上を図るとともに、「奥大山サーモン」として高付加価値化し都市部へ販路を拡大する。新産業の創出により若者の就業機会を広げ、地域経済の活性化と持続可能な地域づくりに寄与する。							
	【R8年度事業 経費内訳】 【主な経費】 ○拠点整備事業 建築物本体工事 水槽関連施設 45,000千円 外装建屋 19,268千円 残渣処理施設 20,000千円 ○ソフト事業 展示会・パンフ作成、ブランド化支援等 業務 5,500千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農林水産物の出荷額（+58,360千円） ②地域雇用人数（+6人） ③生産量（+39.60トン） ④品質（目標サイズ53cm） ⑤販売先件数（+6件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.town-kofu.jp （効果検証） https://www.town-kofu.jp ※R8.5サイト内にて公開予定	

事業概要：江府町特定居住促進計画を推進するための総合的事業

継続

申請者	鳥取県江府町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,109,920千円 (1,847,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	国土交通省が進める「二地域居住促進戦略」の趣旨、昨年度制定をした「江府町特定居住促進計画」に基づき、本町の豊かな自然環境と歴史・文化資源を最大限に活用しながら、魅力があり、より楽しく働き・暮らせる町として「若者・女性にも選ばれる地方」（多様なライフスタイルの共存）を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、「江府町特定居住促進計画」に基づき、自然・文化・仕事を一体的に活用し「第2のふるさと」として選ばれる町づくりを進めるものである。未営業旅館や空き家のリノベーション、江府町コミュニティ・パークやリビングBOOKカフェの整備、奥大山自然塾や農林業センター創設を通じ、働く・学ぶ・暮らす機能を連動させる。体験型事業や交流創出により関係人口を拡大し、仕事と生活環境の充実によって移住・定住の促進と地域コミュニティの再生を図る。					江府コミュニティ・パーク（イメージ図） 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・奥大山自然塾の開催（エコスタディツアー） 5,000千円 ・江府町生成AI活用による新事業創生 8,000千円 ・農業振興奥大山林業センターの創設 5,000千円 ・特定居住支援法人の運営 3,000千円 ・佐川地区移住促進住宅整備計画の策定 15,000千円 ・二地域居住にかかるPR 1,000千円 ・コミュニティパーク広報企画立案支援事業 20,000千円 ・江府町コミュニティ・パーク 1,644,500千円 ・リビングBOOKカフェ整備 40,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①二地域居住促進人材数 （+720人） ②特定居住支援支援法人数 （+8件） ③新規農林業従事者数 （+40人） ④観光・農業体験・文化活動等を通じて町に関わる人：関係人口 （+1,800人） ⑤コミュニティ・パークを通じた関係人口・移住定住者 （+1,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.town-kofu.jp/2/1/2/5-copy/1/ （効果検証） https://www.town-kofu.jp/2/1/2/5-copy/1/z109-copy/